

# 塩素系溶剤の小口輸送時に液漏れを起こしたら!!

塩化メチレン

トリクロロエチレン

テトラクロロエチレン

事故ニュース例

## 菓子に有害物質!! 輸送中に漏洩混入 (2008年6月C新聞)

秋田県のスーパーで販売された「揚げビスケット」から有害物質が検出された問題について、警察は輸送中に一緒に積んでいた有害化学物質「テトラクロロエチレン」が漏れてビスケットに混入したとほぼ断定した。

調べでは、この菓子はN運輸のトラックで石川県を出発、翌日仙台市近郊で下請会社のトラックに積み替え、秋田市に運ばれた。この途中に、混載していたテトラクロロエチレンの一斗缶が破損して中身が漏れだし、菓子の箱に染みこんだ。

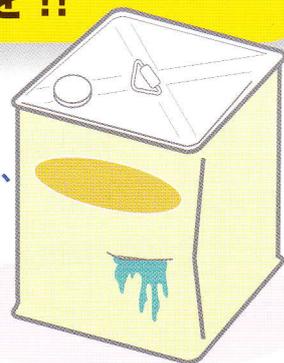
運搬を請け負ったN運輸は、①一斗缶を直接二段以上積まない。②混載した食品と化学物質の間に板などを挟む。③液体漏れ事故が起きた場合は荷主に指示を仰ぐ。——など事故の再発防止策を発表した。

## 輸送時に破損、漏れを見つけたら直ちに以下の措置を!!

- ① 交通量の少ない安全な場所に車を移動させ、停車する。
- ② イエローカードに記載されている荷主会社、運送会社に連絡を取り、対処について指示を仰ぐ。  
大量の場合には、消防署、警察署にも通報する。

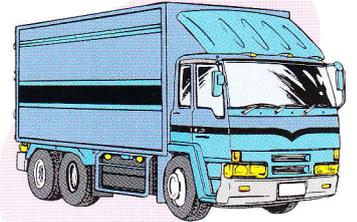
- ③ 荷台の風通しを良くして、風上から以下の応急措置を取る。

- ◎破損部から漏れ出す可能性がある場合には、漏れが拡がらないようにウエスなどで押さえる。
- ◎液漏れ、飛散を見つけたら、すぐにウエス等に吸収させて密閉できる金属製の空容器に回収する。この際、保護めがね、保護手袋を着用して、身体に付着しないようにする。
- ◎他のものと混載している場合には、それへの付着、汚染がないか、十分に確認する。  
付着、汚染がある或いはその恐れがある場合には、それらの他製品も分別、隔離する。
- ◎大量の液漏れがあった場合には、周囲を盛土で囲って流出を防止し、砂などに吸収させて回収する。風下の人を避難させる。
- ◎漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ◎流出した液が河川、地下等に排出され、環境へ悪影響をおこさないように注意する。



## 輸送の際に日頃から心がけること !!

- イエローカード、MSDSを受け取り、必ず緊急時の対応部分を良く読んで理解し、常時携帯する。
- 輸送にはなるべく有蓋車を使用し、無蓋車の場合はシートをかける。
- 他の物資と混載するときは、上に重量物を載せない。また、突起物のあるものとは隔離して、接触しないようにする。特に荷台・パレットから飛び出たクギ・ネジに注意する。
- 食品、生活雑貨などの消費者用物資とはなるべく混載しない。
- 万が一漏洩した場合に備えて、保護めがね、保護手袋、ウエス、金属製回収容器（密閉式）などを備える。



## 塩素系溶剤の主な特徴、人体への影響は !!

- 無色透明で、水よりも重く、特有のにおいを有する液体。水にはほとんど溶けない。
- 蒸気は空気より重く、低いところに滞留しやすい。
- 通常の条件では、不燃性で、引火・爆発の危険はないが、火炎や熱源等に接触すると分解し、有毒ガスを発生することがある。
- 蒸気は麻酔作用がある。眼、鼻、喉に刺激を感じ、次いで頭痛、めまい、嘔吐を生じる。
- 暴露が続くと、酩酊、意識不明、昏睡となって死亡することもある。
- 肝臓、腎臓等への障害をおこす。
- 労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則の第1（または2）種有機溶剤に指定されている。

### 発行 クロロカーボン衛生協会

2008年10月発行

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1 住友不動産六甲ビル8階

電話：03(3297)0321 FAX：03(3297)0316

URL：http://www.jahcs.org/ E-mail：y-yamamoto@jahcs.org

（塩素系溶剤メーカー会員）

旭硝子(株)

東亜合成(株)

関東電化工業(株)

(株)トクヤマ

信越化学工業(株)

ダウ・ケミカル日本(株)